

大川小遺族の葛藤描く 上田で映画上映会

2023/02/27 05:00

妹犠牲・佐藤さん制作



大川小学校校舎で撮影した作品が紹介された上映会（上田市で）

2011年の東日本大震災の発生から来月で12年となるのを前に、上田市で26日、津波で児童ら84人が犠牲となった宮城県石巻市の大川小学校を舞台にした映画の上映会が開かれた。

この日上映されたのは、同小の卒業生で、小学6年生の妹みずほさん（当時12歳）を亡くした佐藤そのみさん（26）（東京都）が日本大芸術学部在学中の19年に制作した劇映画とドキュメンタリーの計2作品。佐藤さんの経験や周辺で起きたことを基に構成しており、遺族や地域住民らが出演している。

上映終了後、参加者約130人を前に登壇した佐藤さんは「震災後は皆、同じ悲しみを抱えているのに、自分と違う行動をしている人の悪口を言ったり、すごく生きづらそうにしていたりすることがあった。そんなことを表現したかった」と語った。上映会は20年末以降、佐藤さんが求めに応じて全国で開いており、今回は県内の教員らで作る有志の会が依頼した。

母親と小学5年の妹と共に鑑賞した上田市の中学1年の女子生徒（13）は「震災の時の記憶がないので、津波でこんなふうになってしまうことにびっくりした。大川小の出来事を知ることができて本当によかった」と話していた。